

# コンパクトシティを実現する 立地適正化計画の策定

これまでビジョンとして語られることの多かったコンパクトシティの概念を、社会経済状況と社会資本整備状況の両面の指標から、実現可能な将来都市像としてビジョンとしてとりまとめます。地域の実情に応じた調査・分析および誘導区域の設定、きめ細かい施策体系の立案を通じ、実現性の高い立地適正化計画を策定し、持続可能な地域社会の形成を支援します。

コンパクトシティを目指した持続可能な地域社会の形成を支援します。

## ● 背景

今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが、大きな課題です。

この課題に対応するためには、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方で進めていくことが重要です。

立地適正化計画は、こうした背景を踏まえ、区市町村が都市全体の観点から作成する、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランです。

## ● 当社の特徴

- ①各種社会経済指標を活用し、地理空間上にて地域の特性（調査分析結果）を見える化します。
- ②住民に対し客観的・論理的に説明できる誘導区域の設定を行います。
- ③関東地整管内の1都8県の全自治体の立地適正化に関する課題認識と取組み状況を把握しており、都市の特性や課題に応じて適切な施策を提案します。

### 調査分析

社会経済指標の分析を通じた  
社会資本整備の管理水準設定  
及び誘導区域の設定

#### ➤ 実施方法

都市に関連する多様な社会経済指標を、地理情報システムを活用し重ね合わせ、地域の実情に応じた地域分析を実施し、社会資本整備の管理水準及び誘導区域の設定に活用。

持続可能な  
地域社会形成を  
目指した  
都市の  
立地適正化

### 将来像・施策立案

コンパクトシティの実現を目指した  
施策・事業計画の立案  
を通じた計画策定

#### ➤ 実施方法

コンパクトシティの実現に有効な施策や事業を効果的に組み合わせ、地域特有の課題解決に資する計画の立案・策定の支援及び事業評価を支援。

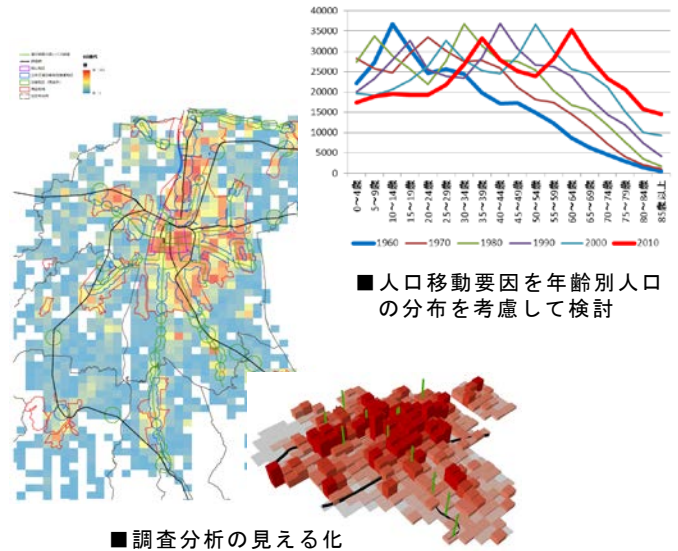
## 社会経済指標および社会資本整備の調査・分析

### ■人口移動要因の分析

コンパクトシティの実現に大きく影響を与える「人口移動要因」を明らかにするため、人口・産業などの社会経済指標を年代別、職業別に細かく把握し、地理空間上で見える化することで、まちなか居住や中心地への移動可能性について調査・分析を行います。

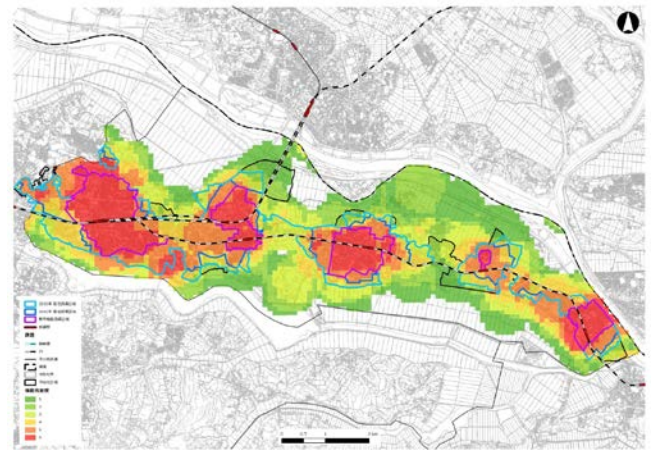
### ■地域別の社会資本整備・管理水準の分析

社会資本整備については、施設の整備状況にとどまることなく、地区毎のサービスレベルを把握し定量化することで、将来の管理レベル設定の検討に資するデータ整理を行います。



## 都市の現状と将来見直しを踏まえた区域設定

将来の人口集積や公共交通のアクセシビリティで評価する空間分析、生活サービスを評価する機能分析及び人口密度の増減を評価する人口分析の3つの分析により都市機能誘導区域、居住誘導区域を設定します。



## まちなかの課題に対応した施策の提案

コンパクトシティの実現に向けた課題を解決するため、生活利便性、健康・福祉、安全・安心、地域経済、行政運営、エネルギー・低炭素の6つの視点から、地域の特性に合わせた施策を提案します。

当社では、コンパクトシティに向けた全国の先進事例をカルテ形式で整理し、都市分類別・課題別に検索することが可能です。

## 業務実績

- 関東地方における立地適正化計画に関する課題検討業務、国土交通省関東地方整備局本局（H27年度）
- 下野市立地適正化計画支援業務、栃木県下野市（H27年度）
- 本庄市立地適正化計画策定調査業務、埼玉県本庄市（H27年度）
- 高槻市立地適正化計画策定業務、大阪府高槻市（H27年度）
- 高松市立地適正化計画（仮称）策定業務委託、香川県高松市（H27年度）
- 関東地方における都市集約化に関する検討業務、国土交通省関東地方整備局本局（H26年度）
- 居住誘導区域を設定した都市における効果的な居住誘導手法検討業務、国土交通省関東地方整備局本局（H26年度）
- コンパクトシティに関する政策研究、富山市との共同研究（H25年度～H27年度）

## お問い合わせ先及び技術担当